

No.	部署名	款	項	目	細目	事業コード	科目名	R2支出額(円)	ページ
325	建設経済部 都市建設課	8	1	1	3	[00000308]	土木総務事務費	5,713,804	1
326	建設経済部 都市建設課	8	2	1	1	[00000309]	道路橋梁総務事務費	4,940,650	3
327	建設経済部 都市建設課	8	2	1	2	[00000310]	道路施設損害賠償費	2,216,825	5
328	建設経済部 都市建設課	8	2	1	3	[00000311]	道路台帳整備事業	6,500,097	7
329	建設経済部 都市建設課	8	2	2	1	[00000312]	道路橋梁維持補修事業	86,837,926	9
330	建設経済部 都市建設課	8	2	2	2	[00000313]	狭隘道路整備事業	89,342	11
331	天津小湊支所 天津小湊支所	8	2	2	4	[00000611]	道路橋梁維持補修事業（支所分）	3,148,641	13
332	建設経済部 都市建設課	8	2	2	5	[00001150]	防災・安全社会資本整備交付金事業	0	15
333	建設経済部 都市建設課	8	2	2	6	[00001151]	道路橋梁維持補修事業（長寿命化事業）	61,222,700	17
334	建設経済部 都市建設課	8	2	2	7	[00001254]	道路メンテナンス事業	109,294,900	19
335	建設経済部 都市建設課	8	2	2	95	[00001245]1	道路橋梁維持補修事業（災害経費）（繰越分）	15,185,585	21
336	建設経済部 都市建設課	8	2	2	96	[00001244]1	道路橋梁維持補修事業（長寿命化事業）（繰越分）	13,350,700	23
337	建設経済部 都市建設課	8	2	2	97	[00001243]1	防災・安全社会資本整備交付金事業（繰越分）	7,220,000	25
338	建設経済部 都市建設課	8	2	3	1	[00000315]	県単工事負担事業	0	27
339	建設経済部 都市建設課	8	2	3	2	[00000316]	市道整備事業	45,649,546	29
340	建設経済部 都市建設課	8	2	3	7	[00000818]	社会資本整備総合交付金事業	27,588,880	31
341	建設経済部 都市建設課	8	2	3	9	[00000973]	防災・安全社会資本整備交付金事業	1,397,000	33
342	建設経済部 都市建設課	8	2	3	10	[00001072]	地方創生道整備推進交付金事業	457,480	35
343	建設経済部 都市建設課	8	2	3	93	[00001124]1	地方創生道整備推進交付金事業（繰越分）	50,912,400	37
344	建設経済部 都市建設課	8	2	3	96	[00000911]1	社会資本整備総合交付金事業（繰越分）	91,080,653	39
345	建設経済部 都市建設課	8	2	3	97	[00000792]1	市道整備事業（繰越分）	17,345,997	41
346	建設経済部 都市建設課	8	3	1	1	[00000317]	河川総務事務費	1,227,355	43
347	建設経済部 都市建設課	8	3	2	1	[00000602]	河川維持補修事業	885,500	45
348	建設経済部 都市建設課	8	3	3	1	[00000318]	河川改修事業	0	47
349	建設経済部 都市建設課	8	3	3	3	[00000601]	追原周辺地域振興事業	66,300	49
350	建設経済部 都市建設課	8	3	3	98	[00001246]1	急傾斜地崩壊対策事業（繰越分）	2,854,500	51
351	建設経済部 都市建設課	8	4	1	1	[00000320]	都市計画総務事務費	79,240	53
352	建設経済部 都市建設課	8	4	1	2	[00000321]	都市計画審議会運営事業	0	55
353	建設経済部 都市建設課	8	4	3	1	[00000324]	下水路事務費	55,220	57
354	建設経済部 都市建設課	8	4	3	2	[00000325]	下水路維持管理事業	8,733,166	59
355	建設経済部 都市建設課	8	4	3	5	[00000328]	排水機場維持管理事業	7,444,311	61
356	建設経済部 都市建設課	8	4	3	99	[00000912]1	下水路維持管理事業（繰越分）	1,133,000	63
357	建設経済部 都市建設課	8	4	4	1	[00000330]	公園事務費	32,200	65
358	建設経済部 都市建設課	8	4	4	2	[00000331]	公園維持管理事業	15,417,171	67
359	建設経済部 都市建設課	8	4	4	3	[00000332]	自然公園等管理事業	1,417,561	69
360	建設経済部 都市建設課	8	4	4	8	[00001310]	公園維持管理事業（新型コロナ対策）	0	71
361	建設経済部 都市建設課	8	4	4	98	[00001247]1	公園維持管理事業（災害経費）（繰越分）	567,160	73
362	建設経済部 都市建設課	8	5	1	1	[00000334]	住宅管理事務費	204,800	75
363	建設経済部 都市建設課	8	5	1	2	[00000335]	市営住宅維持管理事業	27,324,909	77
364	建設経済部 都市建設課	8	5	1	4	[00000774]	住宅・建築物耐震改修等事業	472,000	79
365	建設経済部 都市建設課	8	5	1	6	[00000903]	地域住宅支援事業	2,600,000	81
366	建設経済部 都市建設課	8	5	1	7	[00001038]	特定空家対策事業	5,390,000	83
367	建設経済部 都市建設課	8	5	1	9	[00001168]	被災住宅応急修理支援事業	45,393,285	85
368	建設経済部 都市建設課	8	5	1	10	[00001214]	被災住宅修繕緊急支援事業	24,496,549	87
369	建設経済部 都市建設課	8	5	1	93	[00001252]1	特定空家対策事業（災害経費）（繰越分）	236,251	89
370	建設経済部 都市建設課	8	5	1	94	[00001251]1	市営住宅維持管理事業（災害経費）（繰越分）	5,553,533	91
371	建設経済部 都市建設課	8	5	1	95	[00001250]1	被災住宅修繕緊急支援事業（繰越分）	24,126,000	93
372	建設経済部 都市建設課	8	5	1	96	[00001249]1	被災住宅応急修理支援事業（繰越分）	46,261,437	95
373	建設経済部 都市建設課	8	5	1	97	[00001248]1	地域住宅支援事業（繰越分）	680,000	97
374	建設経済部 都市建設課	8	5	1	99	[00000793]1	市営住宅維持管理事業（繰越分）	5,824,500	99

事業シート (概要説明書)

予算事業名	土木総務事務費	事業開始年度	平成16年度																					
上位施策事業名	-	担当課名	都市建設課																					
根拠法令等		係名	管理係																					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	谷 武俊																					
実施の背景	課の総括的な経費であり、土木技術職員の道路構造物管理実務者研修会、各種道路期成同盟会及び協議会等の総会及び要望活動への旅費や負担金、土木工事発注に必要な工事積算図書や事務用品等の消耗品の購入、交通安全施設である道路照明の電気料等を支出している。																							
目的 (何をどうしたいのか)	橋梁等の道路構造物点検及び評価に係る技術を技術職員が習得することにより、定期点検が義務付けられた道路構造物の点検を計画的に実施されることとなる。地域高規格道路や国・県道の早期整備を求める活動が、主要幹線道路網の整備を加速化させ、大規模災害時の応急対策活動や、地元産業の活性化、観光振興、アクセス向上、通行の安全確保、所要時間の短縮につながる。																							
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	都市建設課職員・国(国土交通省・財務省)、国会議員、千葉県・道路利用者	対象者数(全住民に対する割合) 人 ( 0 % )																					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者) <input type="checkbox"/> 補助金( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) (補助先 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付(貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他( )																						
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き) <table border="1"> <tr> <th>事業内容 (箇条書き)</th> <th>事業費</th> <th>活動指標</th> </tr> <tr> <td>・一般県道天津小湊田原線・鴨川東町(坂下)地先 県単改良工事用地買収に係る会計年度任用職員報酬</td> <td>1,267千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・地域高規格道路「館山・鴨川道路」早期実現に向けた署名活動集計に係る会計年度任用職員報酬</td> <td>1,571千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・治水事業全国大会</td> <td>5千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・道路照明灯電気料</td> <td>1,545千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・道路期成同盟会及び協議会負担金</td> <td>394千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・地域高規格道路整備促進事業補助金</td> <td>300千円</td> <td></td> </tr> </table>	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	・一般県道天津小湊田原線・鴨川東町(坂下)地先 県単改良工事用地買収に係る会計年度任用職員報酬	1,267千円		・地域高規格道路「館山・鴨川道路」早期実現に向けた署名活動集計に係る会計年度任用職員報酬	1,571千円		・治水事業全国大会	5千円		・道路照明灯電気料	1,545千円		・道路期成同盟会及び協議会負担金	394千円		・地域高規格道路整備促進事業補助金	300千円		
	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標																					
・一般県道天津小湊田原線・鴨川東町(坂下)地先 県単改良工事用地買収に係る会計年度任用職員報酬	1,267千円																							
・地域高規格道路「館山・鴨川道路」早期実現に向けた署名活動集計に係る会計年度任用職員報酬	1,571千円																							
・治水事業全国大会	5千円																							
・道路照明灯電気料	1,545千円																							
・道路期成同盟会及び協議会負担金	394千円																							
・地域高規格道路整備促進事業補助金	300千円																							
関連事業 (同一目的事業等)																								
コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)																			
	事業費合計	5,068 千円	5,714 千円	4,451 千円	3,224 千円																			
	事業費内訳 R2年度	・会計年度任用職員報酬 2,838,258円 ・会計年度任用職員期末手当 125,121円 ・費用弁償 86,287円 ・会計年度任用職員健康診断委託料 11,612円 ・普通旅費 5,340円 ・消耗品費 282,061円 ・印刷製本費 44,660円 ・光熱水費 1,545,205円		・修繕料 79,200円 ・駐車場料 1,960円 ・負担金 394,100円 ・補助金 300,000円																				
	担当正職員	3.5 人 19,607 千円	3.5 人 19,831 千円	2.7 人 15,377 千円	3.7 人 20,699 千円																			
	臨時職員等	2.0 人 3,525 千円	2.0 人 3,525 千円	人 千円	人 千円																			
	人件費合計	5.5 人 23,132 千円	5.5 人 23,356 千円	2.7 人 15,377 千円	3.7 人 20,699 千円																			
総事業費	28,200 千円	29,070 千円	19,828 千円	23,923 千円																				
財源内訳	国県支出金	千円	384 千円	1,087 千円	318 千円																			
	地方債	千円	千円	千円	千円																			
	その他特財	千円	1,096 千円	574 千円	615 千円																			
	一般財源	28,200 千円	27,590 千円	18,167 千円	22,990 千円																			
	財源合計	28,200 千円	29,070 千円	19,828 千円	23,923 千円																			

事業番号

予算科目  
(款項目) 8 - 1 - 1

令和3年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名		土木総務事務費			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		-		/	/	/
		道路構造物実務者研修への参加	人	0 / 0	0 / 0	1 / 1
		国・県への要望活動	回	7 / 7	7 / 7	7 / 7
	一般県道天津小湊田原線・鴨川市東町 (坂下) 地先・県単道路改良工事 用地買収	m <sup>2</sup>	2,309 / 5,598	4,494 / 4,713	2,373 / 1,655	
単位当たりコスト	/					
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	・道路構造物実務者研修を受講した技術職員による橋梁及びトンネル点検箇所数 (5年に1度の点検が義務化されている) ・主要地方道千葉鴨川線 (事業計画延長3.670km)、主要地方道鴨川保田線 (事業計画延長3.310km)、主要地方道市原天津小湊線 (事業計画延長10.200km) のうち千葉県による道路整備延長 ・一般県道天津小湊田原線・鴨川東町 (坂下) 地先 県単改良工事 計画総面積 18,420.71m <sup>2</sup> のうち未買収地の取得				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		技術職員による橋梁点検数	橋	0/10	0/19	2/2
		主要地方道の改良計画区間における整備延長 (千葉鴨川線・鴨川保田線・市原天津小湊線)	km	8.86/17.18	8.86/17.18	8.86/17.18
一般県道天津小湊田原線・鴨川東町 (坂下) 地先 県単改良工事 未買収地の取得	m <sup>2</sup>	2309.18/5597.87	4494.03/4712.83	2372.58/1654.54		
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	・地域高規格道路「館山・鴨川道路」、地域高規格道路「鴨川・大原道路」について、計画の早期具体化を目指して継続的な要望活動を実施しているが、具体的な整備計画は示されていない状況である。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	道路橋梁総務事務費	事業開始年度	平成16年度
上位施策事業名	-	担当課名	都市建設課
根拠法令等		係名	管理係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	谷 武俊
実施の背景	道路橋梁事務を執行するための一般的な経常経費である。積算データ交付料や土木工事標準積算基準書等の需用費、排水路等の土地借上料や、積算システム電子計算機借上料などを支出している。		
目的 (何をどうしたいのか)	道路橋梁事務を正確かつ迅速に執行する目的のために、必要となる設計積算等に関する経費である。また、JR安房鴨川駅の東西を連絡する自由通路エレベーターを正常かつ良好な運転状態に保つことを目的とした、保守点検委託も実施している。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	対象者数 (全住民に対する割合)	
		人	( 0 % )
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 )	
<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) ( 補助先 実施主体: )			
	<input type="checkbox"/> 貸付 ( 貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標
	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県土木積算システムデータ交付料 754千円</li> <li>エレベータ点検委託料 1,699千円</li> <li>設計システム用電子計算機借上料 1,350千円</li> <li>建設台帳システム借上料 504千円</li> <li>建設台帳システム再セットアップ・帳票改修 263千円</li> </ul>		
関連事業 (同一目的事業等)			

		R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)	
事業コスト	事業費合計	4,840	千円	4,941	千円	5,015	千円	4,746	千円
	事業費内訳 R2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品費 828,874円</li> <li>委託料 1,814,400円</li> <li>土地借上料 327,056円</li> <li>電子計算機リース料 1,970,320円</li> </ul>							
	人件費	0.0	人	0	千円	0.0	人	0	千円
	総事業費	4,840	千円	4,941	千円	5,015	千円	4,746	千円
財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円		千円
	国庫支出金の内容								
	地方債		千円		千円		千円		千円
	その他特財		千円		千円		千円		千円
	その他特財の内容								
	一般財源	4,840	千円	4,941	千円	5,015	千円	4,746	千円
	財源合計	4,840	千円	4,941	千円	5,015	千円	4,746	千円

事業シート (概要説明書)

予算事業名		道路橋梁総務事務費			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		-		/	/	/
		エレベーター保守点検委託	ヶ月	12 / 12	12 / 12	12 / 12
				/	/	/
	単位当たりコスト	/				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	・自由通路エレベーターを正常かつ良好な運転状態に保つため、毎月1回の保守点検を委託した専門業者により実施している。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		エレベーター保守点検作業	ヶ月	12 / 12	12 / 12	12 / 12
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	・JR安房鴨川駅の東西を連絡する自由通路エレベーターを正常かつ良好な運転状態に保つため、保守点検は必要不可欠である。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	道路施設損害賠償費	事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	-	担当課名	都市建設課		
根拠法令等	国家賠償法	係名	管理係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	谷 武俊		
実施の背景	市の管理する道路について、道路の設置又は道路の設置瑕疵により発生した事故により、通行者を死傷させた場合や車両等財物の損傷が生じた場合、市が道路管理者として国家賠償法等法律上損害賠償責任が生じた場合に備える必要があるため。				
目的 (何をどうしたいのか)	市が道路管理者として国家賠償法等法律上の損害賠償責任が生じた場合に備え、道路賠償責任保険への加入手続き及び、事故発生から保険会社への報告、被害者との示談交渉を行う。更に、被害者との示談成立後に損害賠償金の支払いを行い、保険会社へ保険金請求を行うもの。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市道において、道路の設置又は道路の設置瑕疵により発生した事故による被害者(人的損害、物的損害)	対象者数(全住民に対する割合) 人 ( 0 % )		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者) <input type="checkbox"/> 補助金( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) (補助先 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付(貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他( 公益社団法人全国市有物件災害共済会 )			
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容(箇条書き)	事業費		
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務内容</li> <li>・道路賠償責任保険加入手続き 579千円 【活動指標】 保険の加入</li> <li>・事故受付、事故現場確認、保険会社への連絡 0千円 【活動指標】 事故初期対応</li> <li>・示談交渉、損害賠償金支払い、保険金請求 1,638千円 【活動指標】 示談及び賠償金支払い</li> </ul>	活動指標		
	関連事業 (同一目的事業等)				
事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	580 千円	2,217 千円	579 千円	580 千円
	事業費内訳 R2年度	【保険加入】市道742km×780円/km=578,760円 (契約種別C) ・身体障害 1事故につき 限度額 3,000万円 ・身体障害 1事故につき 限度額 5億円 ・財物破損 1事故につき 限度額 1,000万円 道路損害賠償金 1,638,065円			
	人件費	0.0 人	0.0 人	0.0 人	0.0 人
	総事業費	580 千円	2,273 千円	607 千円	608 千円
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	国県支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
	その他特財の内容				
一般財源	580 千円	2,273 千円	607 千円	608 千円	
財源合計	580 千円	2,273 千円	607 千円	608 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		道路施設損害賠償費			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		-		/	/	/
		道路賠償保険への加入	件	1 / 1	1 / 1	1 / 1
		事故初期対応	件	0 / 0	1 / 1	0 / 0
		示談、賠償金支払い、保険金請求	件	2 / 2	0 / 0	0 / 0
単位当たりコスト	総事業費	/	損害賠償対応件数	2,217	579	0
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	道路賠償責任保険に加入しておくことで、賠償責任が生じた場合に備えるものとなる。 道路損害賠償案件に対する、被害者との示談成立案件数を指標にしたいが、被害者の治療が長期に亘る場合等、年度をまたいで交渉するケースもあるため、成果指標を一概に年度割りすることは困難である。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		道路賠償責任保険への加入	件	1 / 1	1 / 1	1 / 1
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	市道の定期的なパトロールによる道路損傷箇所の早期発見、早期修繕対応により、市道の適正な維持管理に努め、道路事故の未然防止を図るものとする。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		・ 館山市 (市道延長 L=346km) ・ 保険契約種別 E ・ 年間保険料 470,560円 ・ 南房総市 (市道延長 L=759km) ・ 保険契約種別 9 ※ ・ 年間保険料 3,348,773円 <small>※全国町村会総合賠償保険 身体障害1名 2億円、身体障害1事故 20億円、財物損壊1事故 1億円 保険料=91.2円×住民人口37,444人</small> ・ 勝浦市 (市道延長 L=246km) ・ 保険契約種別 E ・ 年間保険料 335,050円 ・ 君津市 (市道延長 L=804km) ・ 保険契約種別 E ・ 年間保険料 1,134,110円  ・ 契約種別                                   【A】                                   【B】                                   【C】                                   【D】                                   【E】 身体障害 1名につき限度額    2,000万円    2,000万円    3,000万円    5,000万円    1億円 身体障害 1事故につき限度額    1億円            3億円            5億円            7億円            10億円 財物損壊 1事故につき限度額    1,000万円    1,000万円    1,000万円    1,000万円    2,000万円 保険料率 1kmあたり年間(市道)    500円            580円            780円            1,120円            1,360円				
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	道路台帳整備事業		事業開始年度	平成16年度														
上位施策事業名	-		担当課名	都市建設課														
根拠法令等	道路法		係名	管理係														
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	谷 武俊														
実施の背景	道路法施行規則に、道路台帳の記載事項の変更については、すみやかな訂正が義務付けられているため、市道路線の認定・廃止、道路改良による道路区域等の変更が生じた路線について毎年度補正を行う必要がある。市道における未登記が判明したものについて、地権者の理解と協力を得られた土地については所有権移転登記を進めるものとしている。																	
目的 (何をどうしたいのか)	市道路線の認定や廃止、又は道路改良等による道路構造、道路区域等に変更が生じた路線の道路台帳の補正は、すみやかに行うこととされているため、毎年度の補正作業が必要である。市道認定路線の境界立会等で新たに判明した未登記案件は、市道の維持管理をする上でのトラブルを未然に防止する観点から、所有権移転登記作業を進めている。																	
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	道路台帳を閲覧する不特定多数の者 市道認定路線の未登記土地所有者		対象者数 (全住民に対する割合) 人 ( 0 % )														
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 (公社) 千葉県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 ) <input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) (補助先 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )																
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標														
	関連事業 (同一目的事業等)																	
	事業内容 (手段、手法など)	○業務内容 ・道路台帳記載事項変更路線の抽出及び道路台帳補正業務発注業務 0千円 ・道路台帳補正業務委託 (調書及び図面の補正) 3,410千円 【活動指標】 調書の補正・図面の補正 ・市道認定路線の境界確認及び未登記市道箇所未登記発注業務 0千円 ・公共嘱託登記業務委託 1,438千円 【活動指標】 分筆登記筆数5筆 ・所有権及び地目変更事務																
コスト	R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)											
	事業費合計		9,309 千円		6,500 千円		7,039 千円		6,218 千円									
	事業費内訳 R2年度		・ソフトウェア保守委託料 1,177,000円 ・登記業務委託料 1,437,897円 ・道路台帳補正委託料 3,410,000円 ・道路等確定標用材料 475,200円															
	人件費	担当正職員	1.2	人	6,722	千円	1.2	人	6,442	千円	1.0	人	5,602	千円	1.0	人	5,602	千円
		臨時職員等		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
人件費合計		1.2	人	6,722	千円	1.2	人	6,442	千円	1.0	人	5,602	千円	1.0	人	5,602	千円	
総事業費		16,031 千円		12,942 千円		12,641 千円		11,820 千円										
財源 内訳	国県支出金	国県支出金の内容																
	地方債																	
	その他特財			4,800														
	その他特財の内容	ふるさぽーと基金繰入金																
	一般財源	16,031 千円		8,142 千円		12,641 千円		11,820 千円										
財源合計	16,031 千円		12,942 千円		12,641 千円		11,820 千円											

事業シート (概要説明書)

予算事業名		道路台帳整備事業			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		-		/	/	/
		道路台帳図・調書の修正	km	5 / 5	3 / 3	7 / 7
		道路情報システム更新	式	1 / 1	1 / 1	1 / 1
	未登記市道用地の分筆・所有権移転登記	筆	7 / 7	15 / 15	3 / 3	
単位当たりコスト		/				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	道路台帳の補正及び道路情報システムの更新を行うことで、道路台帳等の情報を最新のものとする。未登記市道用地の分筆、所有権移転登記を行うことで、道路用地の適正管理につながるものとなる。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		道路台帳図・調書の補正	km	5.1 / 5.1	3.3 / 3.3	6.9 / 6.9
		道路情報システムの更新	式	1 / 1	1 / 1	1 / 1
未登記市道用地の分筆・所有権移転	筆	7 / 7	15 / 15	3 / 3		
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	未登記市道は放置すると、時間と共に相続が発生するなど、解消に向けての手続きが煩雑となり、結果スムーズな処理に支障を来すことが予測され、日常生活に必要な市道の整備の遅れにつながる。また、市道の維持管理を行う上で土地所有者とのトラブルの原因にもなることから、未登記処理が急務となっている。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		館山市 未登記処理 0円 0路線 0筆 (当初予算額 0千円) 南房総市 未登記処理 4,190千円 2路線 8筆 (当初予算額 4,550千円) 勝浦市 未登記処理 0千円 1路線 2筆 (当初予算額 0千円) 君津市 未登記処理 2,380千円 2路線 7筆 (当初予算額 2,500千円) (R02年度実績値)				
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	道路橋梁維持補修事業		事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	-		担当課名	都市建設課		
根拠法令等	道路法		係名	維持係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	鈴木一雄		
実施の背景	日常生活に密着した生活道路について、利便性・安全性を維持していくための工事・修繕の実施、また環境の面からも良好な状態に保つため、地元区への除草等作業の委託や補修のための資材の提供等を行う。					
目的 (何をどうしたいのか)	市道等の利便性・安全性を確保する。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民 (利用者)		対象者数 (全住民に対する割合)		
				31850 人 ( 100.0 % )		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は 地元区 (維持管理業務)、土木業者等 (修繕・工事) 指定管理者 )				
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) (補助先 実施主体: )				
		<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標	
	破損箇所や機能不良箇所の改善を図るための工事、修繕の実施		79,787	千円	工事、修繕、直営作業の箇所数	
	主に山間部道路の除草等維持作業の業務委託 (地元区: 34地区41.14km)		2,162	千円		
	道路維持作業に必要な資材等の購入		2,481	千円		
	市道側溝に堆積した汚泥の清掃、処分		1,936	千円		
関連事業 (同一目的事業等)	道路橋梁維持補修事業 (長寿命化事業)、土木施設災害復旧事業					
コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	104,033 千円	86,838 千円	80,625 千円	156,476 千円	
	事業費内訳 R2年度	消耗品費 255千円、修繕料 44,805千円、傷害保険料 217千円、草刈等委託料 2,162千円、市道清掃委託料 1,572千円、汚泥処分業務委託料 364千円、工事請負費 34,982千円、原材料費 2,481千円				
	人件費	担当正職員	2.10 人 11,764 千円	1.70 人 9,523 千円	1.0 人 5,602 千円	1.9 人 10,476 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	0.0 人 千円	0.0 人 千円
		人件費合計	2.1 人 11,764 千円	1.7 人 9,523 千円	1.0 人 5,602 千円	1.9 人 10,476 千円
総事業費	115,797 千円	96,361 千円	86,227 千円	166,952 千円		
財源内訳	国庫支出金	国庫支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	84,600 千円	23,337 千円	80,485 千円	
		その他特財の内容 ふるさぽーと基金繰入金				
	一般財源	115,797 千円	11,761 千円	62,890 千円	86,467 千円	
財源合計	115,797 千円	96,361 千円	86,227 千円	166,952 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		道路橋梁維持補修事業			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		-		/	/	/
		補修工事、修繕委託箇所数	箇所	208 / 208	207 / 207	251 / 251
		除草等維持作業委託地区数	地区	34 / 53	34 / 53	33 / 53
	地元補修のための資材支給箇所数	箇所	37 / 37	25 / 25	48 / 48	
単位当たりコスト	補修に必要な資材費	/ 箇所数	円	15,428	17,430	16,634
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	日常生活に密着した生活道路を市民が安全に利用するためには、現在の道路状態を維持していくことが必要最低限であるが、今後も老朽化等により、修繕する箇所は益々増えていくと思われる。 維持補修に係るコストを抑えながら現状の道路状態を維持していくためには、職員による直営作業や、危険性の少ない路線や作業について地元と市の協働（資材支給）による修繕を増加させていく。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		除草等維持作業委託地区数	地区	34 / 53	34 / 53	33 / 53
		地元補修のための資材支給箇所数	箇所	37 / 37	25 / 25	48 / 48
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	今後も老朽化が進み修繕を行う箇所が増えていく中で、通行量が少なく通行者がある程度限られるような生活道路について、地元と協働して補修や維持管理作業を行うことで、予算の軽減に繋げたい。 また、現時点で作業受託している地区では、道路の舗装や法面の補修、草刈り等の維持作業を行っているが、市街地にはそのような概念が全く無く、区という組織も存在しない地域もあることから協働管理の考え方が浸透するかは疑問が残る。さらに、高齢化や人口減少により作業を行える住民も減っていくことが予測される。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	千葉県：年間を通じて安房土木事務所鴨川出張所管内の管理施設の維持補修を業者委託している。（日常管理委託37,077千円/年） 除草については別途業者に発注  館山市：現場専門の正規職員1名＋会計年度任用職員2名で除草、穴埋め等の維持作業を行っている。また24路線について業者やシルバー人材センターに除草委託を発注（R2決算14,550千円程度）維持補修は工事請負費にて実施（R2決算17,480千円程度） 資材支給制度はあるが、法定外公共物に関しての支給のみ（原材料費R2決算12,310千円程度（内資材支給1,400千円程度）） 市道の草刈補助として燃料20L/地区、替刃2枚/地区を支給  南房総市：現場専門の職員や非常勤職員はいない。穴埋め等は職員が対応 除草のうち一部を防災協会（業者）に委託している。その他は地区に環境美化活動推進事業交付金として世帯数×200円、上限5万円を交付し、実施している。（111区/116区） 資材支給制度は区要望があれば市道、法定外公共物について支給 維持補修工事費81,281千円、特殊機械借上料18,874千円、原材料費9,669千円					
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	狹隘道路整備事業	事業開始年度	平成16年度
上位施策事業名	狹あい道路の整備	担当課名	都市建設課
根拠法令等	建築基準法、鴨川市狹あい道路等整備要綱	係名	都市整備係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	夏目紀彦
実施の背景	建築基準法に規定される幅員要件を満たしていない道路に接する住宅の建替えを可能とするためには、当該事業による道路整備が必須であることから、住宅等の建替計画と並行して、道路拡幅整備を進める必要がある。住宅密集地の道路拡幅整備は、地域住民の生活環境の向上とともに、災害時の安全性の確保につながる。		
目的 (何をどうしたいのか)	住宅密集地における日照や通風などの生活環境の問題、災害時の避難の妨げ、消火活動や救急活動の遅れ等を道路を拡幅することで解消し、安全で住み良いまちづくりを目指す。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	・住宅密集地の狹あい道路沿いの土地において、建物の建て替えを行う者 ・道路利用者	対象者数 (全住民に対する割合)	人 ( 0 % )
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 土地家屋調査士、工事請負業者 )		
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) ( 補助先 実施主体: )		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
	道路用地分筆登記委託	89千円		
関連事業 (同一目的事業等)				

事業コスト	事業費合計	R3年度 (予算)	2,979 千円	R2年度 (決算)	89 千円	R元年度 (決算)	1,640 千円	H30年度 (決算)	0 千円	
	事業費内訳 R2年度	・道路用地分筆登記委託 89千円								
	人件費	担当正職員	0.2 人 1,120 千円	0.1 人 560 千円	0.3 人 1,681 千円	0.3 人 1,681 千円	臨時職員等			
	人件費合計	0.2 人 1,120 千円	0.1 人 560 千円	0.3 人 1,681 千円	0.3 人 1,681 千円	総事業費	4,099 千円	649 千円	3,321 千円	1,681 千円
財源内訳	国県支出金									
	国県支出金の内容									
	地方債									
	その他特財					900 千円				
	その他特財の内容									
一般財源	4,099 千円	649 千円	2,421 千円	1,681 千円	財源合計	4,099 千円	649 千円	3,321 千円	1,681 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		狭隘道路整備事業			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		狭あい道路の拡幅整備件数 (計画期間内の累計)	路線	7 / 15	7 / 12	9 / 12
		狭あい道路整備工事	路線	0 / 2	1 / 1	0 / 0
				/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	実績値 (狭あい道路の拡幅 件数)	千円	3,321
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	住宅密集地域における住民の生活環境の改善、災害時の安全性の確保、消火活動や救急活動の遅れを解消するため、幅員の狭い道路の拡幅整備箇所数を目標値として設定したものである。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		狭あい道路の拡幅整備による住環境の改善	路線	0 / 2	1 / 1	0 / 0
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	<p>沿岸部の既存市街地では狭あい道路が連続しており、建築物の更新や新築が困難なエリアが多くみられることから、引き続き、狭あい道路整備事業により建物の建て替え時に道路幅員の確保を推進していく。</p> <p>狭あい道路整備は、住宅の建て替えがある場合に当該地に接する部分のみ拡幅している。当該路線の全てにおいて幅員が確保されるまでにはかなりの年月がかかってしまうため、各路線ごとに狭あい道路整備を行うことも今後は考えていく必要がある。</p>				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項		<p>&lt;狭あい道路整備事業&gt;</p> <p>住宅等を建て替える際に、道路中心から一定距離を後退し、その後退用地の提供を受けて後退した部分の道路整備を市が実施するもの。</p>				

事業シート (概要説明書)

予算事業名	道路橋梁維持補修事業 (支所分)	事業開始年度	平成16年度
上位施策事業名	-	担当課名	天津小湊支所
根拠法令等		係名	庶務係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	唐鎌
実施の背景	天津小湊地区は市街地から山間部まできめ細かな道路網が整備されており、小規模な陥没や土砂崩落への迅速な対応とともに、草刈り等の適切な維持管理が求められている。また積雪や路面凍結等が発生しやすい清澄・四方木地区では凍結防止剤や滑り止め砂等の備蓄などが必要とされている。		
目的 (何をどうしたいのか)	天津小湊地区内の市道等に通行の支障を生じないように、草刈、土砂撤去、水路清掃などを行い、併せて、滑り止め砂や土のうなどを準備し、降雪が予想される際など適宜必要な場所に配置をするなど、適切な維持管理を継続的に行うことで、道路が支障なく通行できる状態を保つことを目的とする。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	天津小湊地区内市道等全線及び利用者	対象者数 (全住民に対する割合)	人 ( 0 % )
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)		
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) (補助先 実施主体: )		
		<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
	道路橋梁維持補修事業 (天津小湊地区内市道等)	167 千円		
関連事業 (同一目的事業等)				

コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	170 千円	167 千円	123 千円	135 千円
	事業費内訳 R2年度	消耗品費 64,096円 燃料費 14,630円 委託料 会計年度任用職員健康診断委託料 10,988円 原材料費 道路橋梁維持補修用材料 76,890円			
	人件費	0.2 人 1,120 千円	0.2 人 1,120 千円	0.2 人 1,120 千円	0.3 人 1,681 千円
	総事業費	4,574 千円	4,269 千円	3,629 千円	4,149 千円
財源内訳	国県支出金				
	国県支出金の内容				
	地方債				
	その他特財				
	その他特財の内容				
一般財源	4,574 千円	4,269 千円	3,629 千円	4,149 千円	
財源合計	4,574 千円	4,269 千円	3,629 千円	4,149 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		道路橋梁維持補修事業 (支所分)			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		-		/	/	/
		市道維持管理作業日数	日	208 /	198 /	204 /
				/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/ 作業日数	千円	20	19
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	本件は、2名の作業員による作業が継続的に行われることにより、道路の適切な管理状況を保とうとするものであり、そのため、この事業の経費は、作業員の人件費と作業に係る用具や補修材料の購入費で構成されている。 本来、その指標として、市道の管理目標距離が適当と思われるが、実状は市道ばかりでなく、財産区、公園の管理や海岸清掃及び林道なども含まれるため、2名の作業員がどれだけの時間支障なく作業に従事できたのか、その延べ時間を指標として掲げた。 なお、雨天、荒天時等は、台風通過後など復旧を急ぐ場合を除き、健康や安全面を考慮して作業をしないため、このような場合が作業に従事できなかった日となる。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
	延べ作業時間(作業員2名)	時間	2,503	2,470	2,198	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	市道沿線の草刈は、従来は隣接農地の耕作者による農地手入れの際や、周辺地域の地区活動などにおいて自主的に行われている部分が多かったが、近年は、高齢化や離農などにより草刈り作業ができる住民がいなくなった地域が増える傾向にあり、今後は市でお願いしたいという依頼が来るが多くなっている。 このほか、排水路の清掃など、道路維持管理に要する作業全般について同様の傾向が見られることから、事業に要する市の負担は、今後より大きくなることを見込まれている。 また、所有者の市外転出により管理が行き届かなくなった土地や、管理者不明の空き地などから伸びる草木が道路に広がって、通行の支障になるケースも生じ始めている。こうした道路環境維持の変化に対応していく必要がある。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業③ /3	事業開始年度	平成24年度
上位施策事業名	舗装及び法面等の維持管理	担当課名	都市建設課
根拠法令等	道路法施行規則第4条の5の2	係名	維持係
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	鈴木 一雄
実施の背景	高度成長期以降に集中的に整備された道路施設の高齢化、老朽化が進んでいるため、修繕や更新が避けられない状況となっている。		
目的 (何をどうしたいのか)	道路を常時良好な状態に保つために、舗装及び法面等の健全度を把握し、損傷が著しく、通行に危険な路線(箇所)について計画的に修繕を行い、安全な通行環境を確保する。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民(利用者)	対象者数(全住民に対する割合)	31850人 (100.0%)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)		
		<input type="checkbox"/> 補助金( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) (補助先 実施主体: )		
		<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他( )		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容(箇条書き)	事業費	活動指標	
	舗装補修工事を実施する(N=1路線)	30,800千円		
関連事業 (同一目的事業等)	道路維持補修事業(長寿命化事業)			

事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	0千円	0千円	1,747千円	0千円	
	事業費内訳 R2年度	維持補修工事(1路線) 30,800千円				
	人件費	担当正職員	0人 0千円	0.20人 1,120千円	0.2人 1,120千円	0.0人 0千円
		臨時職員等	0人 0千円	0人 0千円	0人 0千円	0人 0千円
		人件費合計	0.0人 0千円	0.2人 1,120千円	0.2人 1,120千円	0.0人 0千円
	総事業費	0千円	1,120千円	2,867千円	0千円	
財源内訳	国県支出金	0千円	0千円	720千円	0千円	
	国県支出金の内容 防災・安全社会資本整備交付金					
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	その他特財の内容					
	一般財源	0千円	1,120千円	2,147千円	0千円	
財源合計	0千円	1,120千円	2,867千円	0千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		防災・安全社会資本整備交付金事業③ /3			事業開始年度	平成24年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		舗装補修計画に基づき補修等を実施した箇所数	箇所	0 / 1	2 / 2	5 / 11	
		法面等補修計画に基づき補修等を実施した箇所数 (計画期間内の累計)	箇所	0 / 0	0 / 0	2 / 6	
				/	/	/	
	単位当たりコスト	①舗装補修費 ②法面補修費	/	①補修実施箇所数 ②補修実施箇所数	千円	①0 ②0	①874 ②0
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	平成25年度に実施した「路面基礎性状調査」において損傷が著しいと判定された舗装10路線について、計画に則って調査を実施していく。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		舗装修繕調査実施完了路線数 (累計)	路線	0 / 0	10 / 10	/	
		法面修繕実施完了路線数 (累計)	路線	0 / 0	0 / 0	2 / 6	
自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充						
今後の事業の方向性、課題等	舗装修繕に関しては、「舗装修繕計画」に則り、設計・修繕工事を継続して実施していくことが重要である。しかしながら、平成31年度までの計画であり見直しが必要なため、修繕を実施していない損傷レベルの高い路線 (箇所) について、現場の調査・再確認が必要となる。 国の「防災・安全社会資本整備交付金事業」にて調査を実施しているが、近年交付金の内示額が低い状態が続いているため、計画通りに事業を進めていくための予算確保が大きな課題となる。						
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項	平成30年度までは予算科目8-2-3で事業を実施していた。令和元年度から事業の一部が道路橋梁維持補修事業 (長寿命化事業) へ移行した。						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	道路橋梁維持補修事業 (長寿命化事業)	事業開始年度	平成31年度
上位施策事業名	舗装及び法面等の維持管理	担当課名	都市建設課
根拠法令等	道路法施行規則第4条の5の2	係名	維持係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	鈴木 一雄
実施の背景	高度成長期以降に集中的に整備された道路施設の高齢化、老朽化が進んでいるため、修繕や更新が避けられない状況となっている。		
目的 (何をどうしたいのか)	道路を常時良好な状態に保つために、舗装及び法面等の健全度を把握し、損傷が著しく、通行に危険な路線 (箇所) について計画的に修繕を行い、安全な通行環境を確保する。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民 (利用者)	対象者数 (全住民に対する割合)		
			31850 人	( 100.0 % )	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 土木工事業者等)			
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) (補助先 実施主体: )			
<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費	活動指標	
	舗装修繕計画に則り、舗装補修工事を実施する (N=2 路線)		21,890 千円		
	法面修繕計画に則り、法面補修工事を実施する (N=1 箇所)		29,983		
	法面修繕計画に則り、測量業務を委託する (N=1 箇所)		2,750		
	法面修繕計画に則り、補修設計業務を委託する (N=1 箇所)		6,600		
関連事業 (同一目的事業等)	防災・安全社会資本整備交付金事業				

事業 コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	60,900 千円	61,223 千円	41,741 千円	千円	
	事業費内訳 R2年度	測量委託料2,750千円、設計委託料6,600千円、工事請負費51,873千円				
	人件費	担当正職員	0.70 人 3,921 千円	0.30 人 1,681 千円	0.3 人 1,681 千円	人 0 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.7 人 3,921 千円	0.3 人 1,681 千円	0.3 人 1,681 千円	0.0 人 0 千円
	総事業費	64,821 千円	62,904 千円	43,422 千円	0 千円	
財源 内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
	国県支出金の内容					
	地方債	千円	55,000 千円	37400 千円	千円	
	その他特財	千円	0 千円	0 千円	千円	
	その他特財の内容					
一般財源	64,821 千円	7,904 千円	6,022 千円	0 千円		
財源合計	64,821 千円	62,904 千円	43,422 千円	0 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		道路橋梁維持補修事業 (長寿命化事業)			事業開始年度	平成31年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		舗装補修計画に基づき補修等を実施した箇所数 (計画期間内の累計)	箇所	4 / 19	3 / 19	/
		法面等補修計画に基づき補修等を実施した箇所数 (計画期間内の累計)	箇所	4 / 6	3 / 6	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	①舗装補修費 ②法面補修費	/	①補修実施箇所数 ②補修実施箇所数	円	①14,582,150 ②20,665,265
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	平成25年度に実施した「路面基礎性状調査」及び「道路のり面・土工構造物点検」において損傷が著しいと判定された舗装19路線、法面6路線について、計画に則って補修等を実施していく。 同路線で補修すべき箇所が複数ある場合は、全ての補修が終わった段階をその路線の完了とする。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		舗装修繕実施完了路線数 (累計)	路線	0 / 19	0 / 19	/
		法面修繕実施完了路線数 (累計)	路線	4 / 6	3 / 6	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	舗装修繕に関しては、「舗装修繕計画」に則り、設計・修繕工事を継続して実施していくことが重要である。 法面修繕に関しても、平成29年度に策定した「法面修繕計画」に則り、計画的に設計・修繕工事を継続して実施していくことが重要である。 どちらも国の「防災・安全社会資本整備交付金事業」にて実施していたが、H31年度から交付金の対象外となってしまったため、計画通りに事業を進めていくための予算確保が大きな課題となる。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項		平成31年度から道路維持補修事業(長寿命化事業)へ移行し実施している。				

事業シート (概要説明書)

予算事業名	道路メンテナンス事業		事業開始年度	令和2年度		
上位施策事業名	橋梁等の維持管理		担当課名	都市建設課		
根拠法令等	道路法施行規則第4条の5の2		係名	維持係		
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	鈴木 一雄		
実施の背景	高度成長期以降に集中的に整備された道路施設の高齢化、老朽化が進んでいるため、修繕や更新が避けられない状況となっている。					
目的 (何をどうしたいのか)	市道に架かる橋梁について常時良好な状態に保つために、橋梁の定期点検を実施し、健全度の低い橋梁について計画的な修繕を実施し、安全な通行環境を確保する。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民 (利用者)		対象者数 (全住民に対する割合)		
				31850 人 ( 100 % )		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 )				
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) ( 補助先 実施主体: )				
		<input type="checkbox"/> 貸付 ( 貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 ( 箇条書き )		事業費		活動指標	
	橋梁長寿命化修繕計画に則り、次年度補修予定橋梁の補修設計業務を委託する (N=2橋)		4,686	千円		
	橋梁の健全度を把握するため、定期点検業務を委託する (N=64橋)		26,180	千円	橋梁長寿命化修繕計画に基づき定期点検を実施した橋梁数 (累計)	
	橋梁長寿命化修繕計画に則り、補修工事を実施する (N=3橋)		78,429	千円	橋梁長寿命化修繕計画に基づき補修を実施した橋梁数 (累計)	
				千円		
関連事業 (同一目的事業等)						
コスト		R3年度 ( 予算 )	R2年度 ( 決算 )	R元年度 ( 決算 )	H30年度 ( 決算 )	
	事業費合計	78,639 千円	109,295 千円	0 千円	0 千円	
	事業費内訳 R2年度	設計委託料 (2橋) 4,686千円、橋梁点検委託料 (64橋) 26,180千円、工事請負費 (3橋) 78,429千円				
	人件費	担当正職員	1.0 人 5,322 千円	0.6 人 3,361 千円	0 人 0 千円	0 人 0 千円
		臨時職員等	千円	千円	千円	千円
		人件費合計	1.0 人 5,322 千円	0.6 人 3,361 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円
総事業費	83,961 千円	112,656 千円	0 千円	0 千円		
財源 内訳	国県支出金	39,435 千円	59,785 千円	千円	千円	
		国県支出金の内容 道路メンテナンス事業補助				
	地方債	千円	33,400 千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
		その他特財の内容				
	一般財源	44,526 千円	19,471 千円	0 千円	0 千円	
財源合計	83,961 千円	112,656 千円	0 千円	0 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		道路メンテナンス事業			事業開始年度	令和2年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		橋梁長寿命化修繕計画に基づき定期点検を実施した橋梁数 (累計)	橋	83 / 278	19 / 278	/
		橋梁長寿命化修繕計画に基づき補修を実施した橋梁数 (累計)	橋	6 / 17	3 / 17	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	①点検委託料 ②設計委託料+工事請負費	/	①点検橋梁数 ②補修完了橋梁数	①円 ②千円	①409,063 ②29,585
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	市内の橋梁は278橋あり、現在そのうち建設後50年を経過している橋梁は67橋、約33%だが、20年後には162橋、約79%と高齢化が一気に進行する。このまま放置すれば、それぞれ寿命を迎えた時点で架け替えをしなければならない橋梁ばかりになるが、延命措置を図るために、橋梁長寿命化修繕計画に則り計画的な修繕を実施することを目標とする。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		修繕実施橋梁数	橋	3 / 3	3 / 3	
					/	
自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
事業の自己評価	今後の事業の方向性、課題等	市内の橋梁は278橋あり、年々高齢化を迎えることから、定期点検・修繕計画・設計・修繕工事を計画的に継続し、実施していくことが重要である。 R2年度から道路メンテナンス事業が新規創設され、現在の事業が移行される。国の意向により計画的かつ集中的に支援を受けられるが、今後も継続して安定した補助金の支援を受けられるよう、国へ強く要望していく必要がある。 現時点では、定期点検・修繕計画・設計について建設コンサルタントへの委託としているが、事業費削減のため、規模が小さい橋梁においては、職員による直営点検を検討していくことが必要だと思われる。				
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	管理橋梁数                      うち橋長15m以上橋梁数                      R2決算額(千円)		・ 館山市                      140                      23                      47,677 ・ 南房総市                      362                      79                      19,580		
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	道路橋梁維持補修事業 (災害経費) (繰越分)	事業開始年度	令和元年度
上位施策事業名	-	担当課名	都市建設課
根拠法令等	道路法	係名	維持係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	鈴木 一雄
実施の背景	令和元年度の台風等により被災した市道において、土木施設災害復旧事業の対象とならない軽微な被災箇所の復旧事業。		
目的 (何をどうしたいのか)	市道の利便性・安全性を確保する。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民 (利用者)	対象者数 (全住民に対する割合)	31850 人 ( 100 % )	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 ) <input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) ( 補助先 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 ( 貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )			
		事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標
			被災箇所の修繕の実施	15,186 千円	修繕の個所数
			千円		
	千円				
関連事業 (同一目的事業等)	土木施設災害復旧事業				

事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	0 千円	15,186 千円	0 千円	千円	
	事業費内訳 R2年度	修繕料15,186千円				
	人件費	担当正職員	0.0 人 0 千円	0.8 人 4,482 千円	0.0 人 0 千円	人 0 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.0 人 0 千円	0.8 人 4,482 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円
総事業費	0 千円	19,668 千円	0 千円	0 千円		
財源内訳	国県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	千円	
		国県支出金の内容				
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	千円	
	その他特財	千円	15,185 千円	0 千円	千円	
		その他特財の内容 繰越事業費等充当財源繰越額				
一般財源	0 千円	4,483 千円	0 千円	0 千円		
財源合計	0 千円	19,668 千円	0 千円	0 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		道路橋梁維持補修事業 (災害経費) (繰越分)			事業開始年度	令和元年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		修繕の箇所数(各年度)	箇所	40 / 40	/	/
				/	/	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	事業費	/ 箇所数	円	379,640	
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	被災箇所全てを早期に復旧させ、安全で安心な道路交通の確保を目標とする。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		修繕の箇所数(全体)	箇所	264/264	/	/
				/	/	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の 方向性、課題等	2,000路線以上ある市道を全て健全な状態で維持していくには、職員だけでは不可能である。地元と協力しながら維持管理を実施し、事前防災に努め、被災箇所の軽減を図る。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	道路橋梁維持補修事業 (長寿命化事業) (繰越分)	事業開始年度	平成31年度
上位施策事業名	舗装及び法面等の維持管理	担当課名	都市建設課
根拠法令等	道路法施行規則第4条の5の2	係名	維持係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	鈴木 一雄
実施の背景	高度成長期以降に集中的に整備された道路施設の高齢化、老朽化が進んでいるため、修繕や更新が避けられない状況となっている。		
目的 (何をどうしたいのか)	道路を常時良好な状態に保つために、舗装及び法面等の健全度を把握し、損傷が著しく、通行に危険な路線 (箇所) について計画的に修繕を行い、安全な通行環境を確保する。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民 (利用者)	対象者数 (全住民に対する割合)	31850 人 ( 100 % )
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)		
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) (補助先 実施主体: )		
		<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
	法面修繕計画に則り、法面補修工事を実施する (N=1箇所)	13,351 千円		
関連事業 (同一目的事業等)	防災・安全社会資本整備交付金事業			

事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	0 千円	13,351 千円	0 千円	0 千円	
	事業費内訳 R2年度	工事請負費13,351千円				
	人件費	担当正職員	0 人	0.2 人	0 人	0 人
		臨時職員等	0 人	0 人	0 人	0 人
		人件費合計	0.0 人	0.2 人	0 人	0 人
	総事業費	0 千円	14,471 千円	0 千円	0 千円	
財源内訳	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	国庫支出金の内容					
	地方債	0 千円	12,000 千円	0 千円	0 千円	
	その他特財	0 千円	1,351 千円	0 千円	0 千円	
	その他特財の内容 繰越事業費等充当財源繰越額					
一般財源	0 千円	1,120 千円	0 千円	0 千円		
財源合計	0 千円	14,471 千円	0 千円	0 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		道路橋梁維持補修事業 (長寿命化事業) (繰越分)			事業開始年度	平成31年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		法面等補修計画に基づき補修等を実施した箇所数 (計画期間内の累計)		箇所	1 / 1	/	/
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	法面補修費	/	補修実施箇所数	円	13,350,700	
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	平成25年度に実施した「路面基礎性状調査」及び「道路のり面・土工構造物点検」において損傷が著しいと判定された舗装19路線、法面6路線について、計画に則って補修等を実施していく。 同路線で補修すべき箇所が複数ある場合は、全ての補修が終わった段階をその路線の完了とする。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		法面修繕実施完了路線数 (累計)		路線	1 / 1	/	/
					/	/	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	舗装修繕に関しては、「舗装修繕計画」に則り、設計・修繕工事を継続して実施していくことが重要である。 法面修繕に関しても、平成29年度に策定した「法面修繕計画」に則り、計画的に設計・修繕工事を継続して実施していくことが重要である。 どちらも国の「防災・安全社会資本整備交付金事業」にて実施していたが、H31年度から交付金の対象外となってしまったため、計画通りに事業を進めていくための予算確保が大きな課題となる。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業 (繰越分)		事業開始年度	令和元年度		
上位施策事業名	橋梁の維持管理		担当課名	都市建設課		
根拠法令等	道路法施行規則第4条の5の2		係名	維持係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	鈴木 一雄		
実施の背景	高度成長期以降に集中的に整備された道路施設の高齢化、老朽化が進んでいるため、修繕や更新が避けられない状況となっている。					
目的 (何をどうしたいのか)	市道に架かる橋梁について常時良好な状態に保つために、橋梁の定期点検を実施し、健全度の低い橋梁について計画的な修繕を実施し、安全な通行環境を確保する。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民 (利用者)		対象者数 (全住民に対する割合)		
				31850 人 ( 100 % )		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 )				
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) ( 補助先 実施主体: )				
		<input type="checkbox"/> 貸付 ( 貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標	
	橋梁長寿命化修繕計画に則り、補修工事を実施する (N=1橋)		7,220	千円	橋梁長寿命化修繕計画に基づき補修を実施した橋梁数 (累計)	
				千円		
				千円		
				千円		
関連事業 (同一目的事業等)						
コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	30,800 千円	7,220 千円	0 千円	0 千円	
	事業費内訳 R2年度	工事請負費 (1橋) 7,220千円				
	人件費	担当正職員	0.5 人 2,521 千円	0.2 人 1,120 千円	0 人 0 千円	0 人 0 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.5 人 2,521 千円	0.2 人 1,120 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円
総事業費	33,321 千円	8,340 千円	0 千円	0 千円		
財源 内訳	国県支出金	14,000 千円	3,971 千円	千円	千円	
		国県支出金の内容 防災・安全社会資本整備交付金 (繰越分)				
	地方債	千円	1,800 千円	千円	千円	
	その他特財	千円	1,449 千円	千円	千円	
		その他特財の内容 繰越事業費等充当財源繰越額				
	一般財源	19,321 千円	1,120 千円	0 千円	0 千円	
財源合計	33,321 千円	8,340 千円	0 千円	0 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		防災・安全社会資本整備交付金事業 (繰越分)			事業開始年度	令和元年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		橋梁長寿命化修繕計画に基づき補修を実施した橋梁数 (累計)		橋	1 / 1	/	/
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	工事請負費	/	補修完了橋梁数	円	7,220,000	
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	市内の橋梁は278橋あり、現在そのうち建設後50年を経過している橋梁は67橋、約33%だが、20年後には162橋、約79%と高齢化が一気に進行する。このまま放置すれば、それぞれ寿命を迎えた時点で架け替えをしなければならない橋梁ばかりになるが、延命措置を図るために、橋梁長寿命化修繕計画に則り計画的な修繕を実施することを目標とする。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		修繕実施橋梁数		橋	1 / 1	/	/
					/	/	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	市内の橋梁は278橋あり、年々高齢化を迎えることから、定期点検・修繕計画・設計・修繕工事を計画的に継続し、実施していくことが重要である。 R2年度から道路メンテナンス事業が新規創設され、現在の事業が移行される。国の意向により計画的かつ集中的に支援を受けられるが、今後も継続して安定した補助金の支援を受けられるよう、国へ強く要望していく必要がある。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	県単工事負担事業	事業開始年度	
上位施策事業名	県事業に伴う負担金事業	担当課名	都市建設課
根拠法令等	地方財政法第27条第1項の規定	係名	土木係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	熊切昌興
実施の背景	県安房土木事務所起業の御園橋架替え事業に伴う迂回路道路整備と市道改良を兼ねた計画であり、用地補償費は市で実施し、詳細設計や工事は市で実施する。工事費等は一部負担金が発生する。		
目的 (何をどうしたいのか)	千葉県が実施する御園橋架替え工事に伴う迂回路を事業終了後において市道として残存し地元市民の生活の利便性を向上させる。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民 (使用者)	対象者数 (全住民に対する割合)	357 人 ( 1.12 % )	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 ) <input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) ( 補助先 実施主体: ) <input type="checkbox"/> 貸付 ( 貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( 負担金 )			
		事業内容 (手段、手法など)	事業内容 ( 箇条書き )	事業費	活動指標
			工事費にかかる負担金	千円	千葉県の実施する御園橋架替え工事業に伴う迂回路工事
				千円	
	千円				
	千円				
関連事業 (同一目的事業等)					

事業コスト		R3年度 ( 予算 )	R2年度 ( 決算 )	R元年度 ( 決算 )	H30年度 ( 決算 )	
	事業費合計	5,000 千円	0 千円	千円	千円	
	事業費内訳 R2年度	負担金 5,000,000円				
	人件費	担当正職員	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円
	総事業費	5,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
	国県支出金の内容					
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
	その他特財の内容					
一般財源	5,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
財源合計	5,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円		

事業番号

予算科目  
(款項目) 8 - 2 - 3

令和3年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名		県単工事負担事業			事業開始年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
					0 / 100	/	/
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/		円		
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	工事費にかかる負担金(25%)					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
					/	/	/
					/	/	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の 方向性、課題等	千葉県安房土木事務所が実施する御園橋架け替え工事に伴う迂回路工事終了後に負担金が生じるため情報を共有する必要がある。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	市道整備事業	事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	生活道路の整備、交通安全施設の整備 (ガードレール、区画線、道路照明等)	担当課名	都市建設課		
根拠法令等	道路法、鴨川市市道の構造の技術的基準等を定める条例	係名	土木係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	熊切 昌興		
実施の背景	市民の日常生活に密着した生活道路の整備を行い、利便性・安全性の向上を図る。				
目的 (何をどうしたいのか)	地域要望に基づき、生活道路の計画的な整備 (改良・側溝整備・舗装工事等) を実施し、市道の機能性・利便性の向上を図る。				
対象 (誰・何を対象に)	市民 (利用者)	対象者数 (全住民に対する割合)			
		31850 人	( 100.0 % )		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 測量業者、土木工事業者 )				
	<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) ( 補助先 実施主体: )				
	<input type="checkbox"/> 貸付 ( 貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
事業概要	事業内容 (簡条書き)	事業費	活動指標		
	設計に要する測量や取得用地の分筆登記などの実施。	5,298 千円			
	改良 ( 拡幅等 )、側溝整備や舗装工事の実施。	35,671 千円	市道の整備延長		
	地元の労力提供による市道の舗装に要する材料 ( 生コン ) を支給する。	2,121 千円			
	改良工事に要する事業用地を買収する。	334 千円			
	工事に際し支障となる物件、立木、電柱移転費用を補償する。	2,224 千円			
関連事業 (同一目的事業等)					
事業費 コスト	R3年度 ( 予算 )	R2年度 ( 決算 )	R元年度 ( 決算 )	H30年度 ( 決算 )	
	事業費合計	151,557 千円	45,650 千円	78,507 千円	124,826 千円
	事業費内訳 R2年度	・設計委託料 3,463,900円 市道法明大崩線 ・測量委託料 1,430,000円 (市道門田大場代線 外1路線) ・登記委託料 404,173円 (市道門田大場代線 外1路線) ・市道整備工事 35,671,100円 改良工事 (市道風蔵宮崎線 外5路線) 側溝整備工事 (市道小松原掛松線) 舗装工事 (市道前原貝渚線) 安全施設工事 (市道山ノ腰線 外1路線) 改良L=298m(その他L=298m)、排水・側溝整備L=120m、舗装L=198m、安全施設設置L=1332m ・生コン舗装用原材料費 2,121,351円 市道下川之田外8路線 V=109m3 ・公有財産購入費 334,452円 市道門田大場代線 外2路線に伴う道路用地(宅地4.15㎡、田・畑51.65㎡) ・立木・伐採補償 1,945,570円 (市道門田大場代線 外1路線) ・電柱移転補償 279,000円 (市道山波尾崎線)			
	担当正職員	3.0 人 16,806 千円	3.0 人 16,806 千円	2.5 人 14,005 千円	3.0 人 16,526 千円
	臨時職員等				
人件費合計	3.0 人 16,806 千円	3.0 人 16,806 千円	2.5 人 14,005 千円	3.0 人 16,526 千円	
総事業費	168,363 千円	62,456 千円	92,512 千円	141,352 千円	
財源 内訳	国県支出金				
	国県支出金の内容				
	地方債		27,200 千円	50,900 千円	88,300 千円
	その他特財		9,000 千円		
	その他特財の内容	ふるさぽーと基金繰入金			
	一般財源	168,363 千円	26,256 千円	41,612 千円	53,052 千円
財源合計	168,363 千円	62,456 千円	92,512 千円	141,352 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		市道整備事業			事業開始年度	平成16年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		市道の整備延長 (計画期間内の累計)	km	237 / 743	237 / 743	237 / 744	
				/	/	/	
				/	/	/	
	単位当たりコスト	総事業費	/ 延長	千円/m	108	50	48
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	限られた財源の中で多くの要望に応えるため、機能性・利便性の向上と併せて、屈曲部の視距改良や待避所設置等、局所的な整備への転換も視野に入れ、地域の利用環境に合った安全で経済的な道路ネットワークを整備することが目標となる。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		道路改良率の向上	%	236.9/742.3	236.5/742.3	236.6/743.5	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	要望地域の地勢により、山間部における土留構造物等に伴う工事費や平地部における立木等の移転補償費など、整備事業費が膨大となる可能性があるため、総事業費のコスト縮減を目指す。 整備に際し、現状の生活環境を保持でき、かつ道路の安全性と経済性を兼ね備えた一体的な整備を望む市民の意向も踏まえた計画を策定し、用地提供者全員の合意のうえ早期着手に努める。					
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	生活道路については、現状道路敷内での整備が大半であり、広範囲の拡幅では無く局所的な視距改良程度の整備となっている。					
	特記事項	過去に整備をした路線のうち用地交渉不調等による一部未整備 (狭さく) 箇所について、整備が滞っている状況であるが、再度の用地交渉により、整備完了した箇所もある。					

事業シート (概要説明書)

予算事業名	社会資本整備総合交付金事業		事業開始年度	平成24年度														
上位施策事業名	幹線市道の整備		担当課名	都市建設課														
根拠法令等	道路法、鴨川市市道の構造の技術的基準等を定める条例		係名	土木係														
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	熊切昌興														
実施の背景	貝渚橋は中学校の通学経路となっているが歩道が無く、幅員が狭いうえ老朽化による損傷も生じていることに加え、左岸側は主要地方道鴨川保田線と近接した変則的な丁字交差点となっていることから交通安全上にも問題があった。 このことから、平成21年度に県営圃場整備計画と併せて貝渚橋を含む市道貝渚大里線の整備を計画し、橋梁の架け替えと交差点改良を一体とした事業延長380mを平成24年度から着手、その後橋梁・交差点詳細設計に伴い、平成25年度に事業延長を510mに変更し、平成26年度の圃場整備区域の変更と併せて、市道貝渚大里線の国道128号までの整備に着手すべく、平成27年度から整備延長を2660mに変更することとなった。																	
目的 (何をどうしたいのか)	市道貝渚大里線は、千葉県緊急輸送道路に指定されている(国)128号から(主)鴨川保田線を交差し、(主)千葉鴨川線とを結ぶ重要な路線であり、当該整備により市内並びに周辺南房総地域の物流及び交流の活性化や、国道128号のバイパスの効果による慢性的な渋滞の解消と点在する観光地間等へのアクセス向上、災害時におけるリダンダンシー(多重性)の確保が可能となる。 また、併行して実施中の県営加茂川中部地区土地改良事業(区画整理)との工程調整により、早期に整備を実施するものである。																	
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民(利用者)		対象者数(全住民に対する割合)														
				31850人 (100.0%)														
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 測量業者、土木施工業者)																
		<input type="checkbox"/> 補助金( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) (補助先 実施主体: )																
<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他( )																		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容(箇条書き)		事業費	活動指標														
	設計に要する測量や取得用地の分筆登記などの実施。(大里地内の用地境界確認)		2,502	千円														
	貝渚大里線の道路改良工事(工事実績なし)		25,086	千円	貝渚大里線整備事業の総工事費を基準とした進捗率													
	工事に伴う仮設道路部の借地料(工事実績なし)			千円														
	改良工事に要する事業用地買収			千円	貝渚大里線整備事業の総用地面積を基準とした進捗率													
関連事業 (同一目的事業等)	・防災・安全社会資本整備交付金事業 市道貝渚大里線(貝渚橋・上部工)単純鋼床版箱桁橋 橋長42.7m(1径間) ※平成29年度地方創生道整備推進交付金事業へ移行 計画延長760m (社会資本整備総合交付金事業の延長380mと防災・安全社会資本整備交付金事業の延長380mの合計)、標準幅員11m(車道2車線、片側歩道) 市道貝渚大里線 道路工(橋梁上部工・道路改良工・旧橋撤去工) ・県営加茂川中部地区土地改良事業(区画整理) 事業主体:千葉県安房農業事務所 概算事業費:17億1020万円																	
コスト	R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)											
	事業費合計		175,330	千円	27,589	千円	24,597	千円	11,251	千円								
	事業費内訳 R2年度		委託料 2,502,280円 市道貝渚大里線の改良に伴う不動産鑑定 市道整備工事 25,086,600円															
	人件費	担当正職員	0.50	人	2,801	千円	0.5	人	2,801	千円	0.60	人	3,361	千円	0.32	人	1,793	千円
		臨時職員等		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
人件費合計		0.5	人	2,801	千円	0.5	人	2,801	千円	0.6	人	3,361	千円	0.3	人	1,793	千円	
総事業費		178,131	千円	30,390	千円	27,959	千円	13,044	千円									
財源 内訳	国県支出金		79,240	千円	9,601	千円	6,147	千円	0	千円								
	国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金															
	地方債			千円	17,100	千円	14,700	千円		千円								
	その他特財			千円		千円		千円		千円								
	その他特財の内容																	
一般財源		98,891	千円	3,689	千円	7,112	千円	13,044	千円									
財源合計		178,131	千円	30,390	千円	27,959	千円	13,044	千円									

事業シート (概要説明書)

予算事業名		社会資本整備総合交付金事業			事業開始年度	平成24年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		貝渚大里線整備事業の総工事費を基準とした進捗率		百万円	244 / 1,100	216 / 1,100	188 / 1,100
		貝渚大里線整備事業の総用地面積を基準とした進捗率		m	4,411 / 14,140	4,411 / 14,140	377 / 14,140
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	延長	千円/m	414	414
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	関連事業の県営加茂川中部地区土地改良事業 (区画整理) と併行して貝渚橋の架け替えを含む道路整備を効率的かつ迅速に進めることで地域全体における物流及び交流の活性化や、点在する観光地間等へのアクセス向上、慢性的な渋滞の解消と災害時に対応した交通の確保など、道路ネットワークが構築され、利便性の向上が図られるため、本事業の進捗に大きく影響を受ける県営加茂川中部地区土地改良事業 (区画整理) と綿密な工程調整を行い、早期に整備を実施するものである。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		貝渚橋・橋梁下部工の完成進捗率		%	1,100/1,100	1,100/1,100	1,100/1,100
		貝渚大里線整備事業の総用地面積を基準とした進捗率		%	4,411/14,140	4,411/14,140	377/14,140
自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充						
今後の事業の方向性、課題等	<p>社会資本整備総合交付金事業は、配分率が毎年低下している傾向にあり、事業の進捗に大きく影響を与えることが懸念される。</p> <p>関連する県営加茂川中部地区土地改良事業 (区画整理) の進捗により大きく影響を受けるため、事業間の綿密な工程調整が必須となる。</p> <p>幹線道路の接続部における交差点改良に伴う建物等の物件移転補償費など、整備事業費が膨大となる可能性があるため、総事業費のコスト縮減を目指す。</p> <p>整備に際し、現状の生活環境を保持でき、かつ道路の安全性と経済性を兼ね備えた一体的な整備と所有者の意向も踏まえた計画を策定し、用地提供者全員の合意のうえ早期着手に努める。</p>						
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>市道貝渚大里線に伴う配分率の比較について</p> <p>平成26年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率55%) 配分率85% (迂回路、仮橋工他)</p> <p>平成27年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率55%) 配分率41% (A1橋台工他)</p> <p>平成28年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率55%) 配分率30%</p> <p>平成29年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率55%) 配分率30%</p> <p>平成30年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率55%) 配分率30%</p> <p>(平成30年度交付率 重点計画55%, 非重点計画50%)</p> <p>平成31年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率55%) 配分率13%</p> <p>(平成31年度交付率 重点計画55%, 非重点計画50%)</p> <p>令和2年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率50%) 配分率19%</p> <p>(令和2年度交付率 重点計画55%, 非重点計画50%)</p> <p>令和3年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率50%) 配分率94%</p> <p>(令和3年度交付率 重点計画55%, 非重点計画50%)</p> <p>※館山市における平成29年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率55%) 配分率28%</p> <p>館山市における平成30年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率55%) 配分率11%</p> <p>館山市における平成31年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率55%) 配分率26%</p> <p>館山市における令和2年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率55%) 配分率18%</p> <p>館山市における令和3年度社会資本整備総合交付金事業 (交付率55%) 配分率0%</p>						
特記事項	<p>平成29年度から地方創生道整備推進交付金事業が新規に計画されることから、千葉県と地方公共団体とで平成29年度から平成33年度までの5年間における地域再生計画を策定し、配分率の高い事業への移行をするため認定申請を行った。</p> <p>これにより防災・安全社会資本整備交付金事業で計画していた事業延長380m区間と社会資本整備総合交付金事業で計画していた事業延長380m区間を合わせた全体計画延長760mを平成29年度から地方創生道整備推進交付金事業にて実施しているが、令和3年度で計画期間が終了となるため、令和4年度以降も継続して地方創生道整備推進交付金事業にて実施する方向となるよう次期の地域再生計画を策定して認定申請をするとともに今後も財源の確保が課題である。</p>						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業②/3		事業開始年度	平成25年度													
上位施策事業名	交通安全施設の整備 (ガードレール、区画線、道路照明等)		担当課名	都市建設課													
根拠法令等	道路法、鴨川市市道の構造の技術的基準等を定める条例		係名	土木係													
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	熊切昌興													
実施の背景	平成24年に全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、平成24年8月に各小学校の通学路について関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、市道における必要な対策について実施している。																
目的 (何をどうしたいのか)	通学路の安全確保に向けた取組を行うため、関係機関の連携体制を構築し、「鴨川市通学路交通安全プログラム」(平成26年5月策定)に基づき、関係機関が連携して児童生徒等が安全に通学できるように通学路の安全確保を図るものである。																
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民 (利用者)		対象者数 (全住民に対する割合)													
				31850 人 ( 100.0 % )													
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施															
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 土工事業者等 )															
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) ( 補助先 実施主体: )															
	<input type="checkbox"/> 貸付 ( 貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )																
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標												
	通学路の交通安全対策 (カラー舗装等) を実施		1,397	千円	対策延長												
				千円													
				千円													
				千円													
関連事業 (同一目的事業等)																	
事業費 コスト	R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)										
	事業費合計		1,870 千円		1,397 千円		2,750 千円		3,164 千円								
	事業費内訳 R2年度		・市道整備工事 1,397,000円 市道上貫姥田線 交通安全対策 (カラー舗装) 工事 延長140.5m 幅員0.10~0.75m 薄層カー緑舗装A=108㎡ (As部108㎡)														
	担当正職員	0.1	人	560	千円	0.3	人	1,681	千円	0.1	人	560	千円	0.1	人	560	千円
	臨時職員等		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
人件費合計	0.1	人	560	千円	0.3	人	1,681	千円	0.1	人	560	千円	0.1	人	560	千円	
総事業費	2,430 千円		3,078 千円		3,310 千円		3,725 千円										
財源 内訳	国県支出金		825 千円		750 千円		1,473 千円		1,694 千円								
	国県支出金の内容		防災・安全社会資本整備交付金														
	地方債																
	その他特財																
	その他特財の内容																
一般財源		1,605 千円		2,328 千円		1,837 千円		2,031 千円									
財源合計		2,430 千円		3,078 千円		3,310 千円		3,725 千円									

事業シート (概要説明書)

予算事業名		防災・安全社会資本整備交付金事業②/3			事業開始年度	平成25年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		-		/	/	/
		交通安全対策工事延長	m	141 / 141	156 / 156	366 / 366
				/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/ 延長	千円/m	10	18
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	通学路安全推進会議において対策要望のあった危険箇所について、早期に児童・生徒及び歩行者の安全確保をするため、通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合を向上させ、交通事故の抑制と減少を目標とする。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		計画延長進捗状況	m	1913.6/2037	1773.1/2037	1616.8/2037
		計画事業費進捗状況	千円	23,949/52,000	22,552/52,000	19,802/52,000
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	危険箇所の状況に最適な対策を措置するために、自動車や自転車、歩行者の交通量の他、危険な時間帯など、基礎データの収集が必要不可欠となる。 千葉県において自転車通行環境整備のため、各市町村単位に自転車事故の自動車交通量別・場所別・当事者別・速度別・事故類型別のデータ分析を行っており、分析結果を活用し、今後の安全対策の検討に参考とする。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						



































































































































